

学校行事

☆活用のねらい

学校には年間を通していろいろな行事があります。そしてその行事には学習指導要領で定められた“ねらい”があります。そのねらいをもとに、各学校では目標や内容を検討しながら特色のある学校行事を行っていることだと思います。

この章には学習指導要領から抜粋した学校行事の目標や求められる効果、また学校行事の内容に即して全ての学年で取り組む5つの内容が示されています。そして、各内容ごとにねらいや留意点も記載されています。

教育効果をあげるためには前年度の評価反省を活かした行事計画がなされることが必要です。PDCAを機能させ、評価反省が活かされた学校行事とするために、校内のシステムづくりの一環として「行事起案シート」を作成しました。

各行事を行うにあたり、起案シートを見れば誰が見ても行事全体の内容が把握でき、また次年度へつながるものとして使うことができます。各校で事務職員から提案してみてもいいでしょうか。

また、児童生徒にとって、楽しく、教育的効果のある学校行事となるために、事務職員は学校行事の目的・内容を理解し、それに伴う予算や対外的な人や施設の手配など学びの環境作りの支援を行うことも必要でしょう。

そして、さらに今後は、行事の小学校・中学校の系統性や他校との連携など学校間連携の調整を行う役割も担っていくこととなるでしょう。

この手引きが、そういったこれからの事務職員に求められる役割をはたすための学習ツールとなれば幸いです。

☆主な内容

学校行事の目標・内容・効果

5つの内容

儀式的行事

文化的行事

健康安全体育的行事

遠足集団宿泊的行事

勤労生産奉仕的行事

学校行事の指導計画

学校行事の内容の取扱い

行事起案シートの活用

行事起案シートの記載例

学校行事

小学校学習指導要領解説（平成20年8月）より抜粋

学校行事の目標

☆ 学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主性、実践的な態度を育てる。

- ・ 児童が各種の学校行事に積極的に参加できるようにする
- ・ 役割を担ってその責任を果たすことができるようにする
- ・ とともに喜びや苦勞を分かち合いながら目標を成し遂げることができるようにする
- ・ 望ましい体験活動ができるようにする

求められる効果

- ・ 自らを律し、協力し、信頼し、励まし合い、切磋琢磨し、喜びや苦勞を分かち合うような人間関係を築こうとする態度
- ・ 学校への愛着、学校の一員としての自覚や仲間意識などの集団への所属感
- ・ 郷土の伝統や文化、地域社会の生活や人々と積極的にかかわり、自分の役割を自覚し、自らを生かし、協力しながら進んで役に立とうとするなどの公共の精神
- ・ 学校生活の充実と向上のため、互いの力を合わせ互いに役割や責任を果たし合おうとすることについて、児童自身が意識して努力するなど、自らが主体的に取り組むなどの自主性、実践的な態度

学校行事の内容

☆ 全校又は学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うこと。

求められる効果

- ・ 他の教科では容易に得られない教育的価値を実現する内容としての学校行事の特質を述べたもの。特に学校行事における感動体験の場は、子どもの心を育て、自己の生き方の考えを深めるよい機会になるとともに、学級集団はもとより学年や全校の集団を育成する上でも効果的な場となる。
- ・ 単調になりがちな学校生活に望ましい秩序と変化を与えることから、年間を通して計画的に実施することによって、児童の学校生活にリズムを与え、節目を付け、より生き生きとした生活を実現することになる。

学校行事

小学校学習指導要領解説（平成20年8月）より抜粋

学校行事の目標

☆ 学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主性、実践的な態度を育てる。

- ・ 児童が各種の学校行事に積極的に参加できるようにする
- ・ 役割を担ってその責任を果たすことができるようにする
- ・ とともに喜びや苦勞を分かち合いながら目標を成し遂げることができるようにする
- ・ 望ましい体験活動ができるようにする

求められる効果

- ・ 自らを律し、協力し、信頼し、励まし合い、切磋琢磨し、喜びや苦勞を分かち合うような人間関係を築こうとする態度
- ・ 学校への愛着、学校の一員としての自覚や仲間意識などの集団への所属感
- ・ 郷土の伝統や文化、地域社会の生活や人々と積極的にかかわり、自分の役割を自覚し、自らを生かし、協力しながら進んで役に立とうとするなどの公共の精神
- ・ 学校生活の充実と向上のため、互いの力を合わせ互いに役割や責任を果たし合おうとすることについて、児童自身が意識して努力するなど、自らが主体的に取り組むなどの自主性、実践的な態度

学校行事の内容

☆ 全校又は学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うこと。

求められる効果

- ・ 他の教科では容易に得られない教育的価値を実現する内容としての学校行事の特質を述べたもの。特に学校行事における感動体験の場は、子どもの心を育て、自己の生き方の考えを深めるよい機会になるとともに、学級集団はもとより学年や全校の集団を育成する上でも効果的な場となる。
- ・ 単調になりがちな学校生活に望ましい秩序と変化を与えることから、年間を通して計画的に実施することによって、児童の学校生活にリズムを与え、節目を付け、より生き生きとした生活を実現することになる。

- ・ 児童に他者と力を合わせて学校行事に取り組ませることを通して、学校生活に満足感や充実感を味わわせることができること。
- ・ 児童の積極的な参加によって、結果として学校生活がより豊かになるなど充実・発展すること
- ・ 児童にとって学校生活を魅力があり、楽しく充実したものとする役割もある。
- ・ 特色ある学校づくりやよりよい校風づくり
- ・ 役割を果たすことにより、自分への自信を高め、学校生活の満足度を高める。

学校行事に他の教育活動における学習や経験などを総合的に取り入れ、その発展を図り効果的に展開する必要がある。また、日常の各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び学校行事以外の特別活動などの学習を充実したものによって学校行事は成果を上げ、学校教育全体の調和を図り、真に学校生活を実りあるものにするのである。

学習指導要領には、学校行事の内容に即して、全ての学年で取り組むべき5つの内容を示している。

<p>儀式的行事</p>	<p>学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行うこと。</p>	<p>入学式 卒業式 対面式 終業式</p>
<p>文化的行事</p>	<p>平素の学習活動の成果を発表し、その向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするような活動を行うこと。</p>	<p>文化祭 各種発表会</p>
<p>体育・健康・安全行事</p>	<p>心身の健全な発達や健康の保持増進などについての関心を高め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動を行うこと。</p>	<p>体育祭・運動会 総練習 健康診断 運動会の準備は学校裁量</p>
<p>集団・遠足・宿泊的行事</p>	<p>自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、人間関係などの集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと。</p>	<p>遠足 宿泊訓練 修学旅行</p>
<p>奉勤・労作的・生産行事</p>	<p>勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行うこと。</p>	<p>地域清掃活動 職場体験 稲作</p>
<p>参観日一日先生等はねらいによって、「学校行事」「学校裁量」「該当教科等」でカウントできる。</p>		
<p>グラウンド整備・石拾い等はねらいによって「学校行事」あるいは「学校裁量」</p>		

儀式的行事

ねらいと内容

学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行うこと。

児童の学校生活に一つの転機を与え、児童が相互に祝い合い励まし合って喜びを共にし決意も新たに新しい生活への希望や意欲をもてるような動機付けを行い、学校、社会、国家などへの所属感を深めるとともに、厳かな機会を通して集団の場における規律、気品のある態度を育てる。

儀式的行事は、全校の児童及び教職員が一同に会して行う教育活動であり、その内容には、入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式、開校記念に関する儀式、着任式、離任式、朝会などが考えられる。

留意点

日常の学習成果を生かし、児童が積極的に参加できるようにするとともに、地域の実情に応じた十分な教育的な配慮の下に計画する。

教育効果は、児童の参加意欲とその儀式から受ける感銘の度合いによって大きく左右される。したがって、いたずらに形式に流れたり、厳粛な雰囲気をもたないことなく、各行事のねらいを明確にし、絶えず行事の内容に工夫を加えることが望ましい。

学級活動などにおける指導との関連を図って、それらの行事の意義が児童に理解できるようにする。

入学式や卒業式などにおいては、国旗を掲揚し、国歌を斉唱することが必要である。

全校児童の参加が望ましいが、施設などの関係でやむなく全員が参加できない場合には少なくとも複数の学年の児童が参加するように配慮することが望ましい。

文化的行事

ねらいと内容

平素の学習活動の成果を発表し、その向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするような活動を行うこと。

児童が学校生活を楽しく豊かなものにするため、互いに努力を認めながら協力して、美しいもの、よりよいものをつくり出し、互いに発表し合うことにより、自他のよさを見つけ合う喜びを感得すると共に、自己の成長を振り返り、自己を伸ばそうとする意欲を持てるようにする。また、文化や芸術に親しみ、美しいものや優れたものに触れることによって豊かな情操を育てる。

音楽鑑賞会・演劇鑑賞会等

児童の手によらない作品や催し物を鑑賞する行事

留意点

言語力の育成の観点から、学芸会などで異年齢の児童が一堂に会して、互いに発表し合う活動を効果的に実施することが望ましい。その際、特定の児童だけが参加、発表するのでなく、何らかの形で全員が参加しているという意識がもてるようにする。

児童の発表意欲を尊重し、自主的な活動を十分に認め、できるだけ自主的に運営できるよう配慮する。そのためには、児童会活動などの組織を必要に応じて活用するような運営が望ましい。

練習や準備に過大な時間を取り、児童に過重な負担をかけることのないように、練習、準備の在り方を工夫、改善するとともに、行事の年間指導計画を作成する際にあらかじめ適切な時間を設定しておくようにする。

より質の高い芸術や文化などに触れる機会を設定して、児童の豊かな感性を養うことができるよう配慮する。その際、内容に応じて保護者の参加を得て、親子などで鑑賞できるようにする工夫も考えられる。また、地域を理解し、郷土への愛着を深める観点から、地域の伝統や文化に触れる機会を積極的に設定するよう配慮する。

健康安全・体育的行事

ねらいと内容

心身の健全な発達や健康の保持増進などについての関心を高め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動を行うこと。

児童自らが自己の発達や健康状態について関心をもち、心身の健康の保持増進に努めるとともに、身の回りの危険を予測・回避し、安全な生活の実践に必要な習慣や態度を育成する。また、児童が運動に親しみ、楽しさを味わえるようにするとともに体力の向上を図る。

健康診断や給食に関する意識を高めるなどの健康に関する行事、避難訓練や交通安全、防犯等の安全に関する行事、運動会や球技大会等の体育的行事などが考えられる。

留意点

病気の予防など健康に関する行事については、学校や地域の実態に即して実施し、できるだけ集中的、総合的、組織的に行われるよう配慮することが大切である。また、学級活動における指導や児童会活動、体育科の保健の学習内容などとの関連を図るようにする。

避難訓練など安全に関する行事については、表面的、形式的な指導に終わることなく、具体的な場面を想定するなど適切に行うことが必要である。特に交通安全指導や防犯指導については、新入学時に対して、学年当初に日常の安全な登下校ができるよう適切な指導を行うようにする。なお、遠足・集団宿泊的行事における宿泊施設等からの避難の仕方や安全などについて適宜指導しておくことも大切である。

運動会などについては、実施に至るまでの指導の過程を大切にするとともに、体育科の学習内容と関連を図るなど時間の配当にも留意することが大切である。また、活発な身体活動をともなう行事の実施に当っては、児童の健康や安全にはとくに留意し、教師間の協力体制を万全にし、事故防止に努める必要がある。

運動会においては、学校の特色や伝統を生かすことも大切である。ただし、児童以外の参加種目を設ける場合は、運動会の教育的意義を損なわない範囲にとどめるよう配慮する。また、児童会などを生かした運営を考慮し、児童自身のものであるとして実施することが大切である。その場合、児童に過度の負担を与えたり、過大な責任を負わせたりすることのないように配慮する。

各種の競技会などの実施に当っては、いたずらに勝負にこだわることなく、また、一部の児童の活動にならないように配慮することが必要である。

遠足・集団宿泊的行事

ねらいと内容

自然の中での集団宿泊的活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、人間関係などの集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと。

校外の豊かな自然や文化に触れる体験を通して、学校における学習活動を充実発展させる。また、校外における集団活動を通して、教師と児童、児童相互の人間的な触れ合いを深め、楽しい思い出をつくる。さらに、集団活動をとおして、基本的な生活習慣や公衆道徳などについての体験を積み、互いを思いやり、共に協力し合ったりするなどの人間関係を築く態度を育てる。

遠足・修学旅行・野外活動・集団宿泊的行事などが考えられる。小学校段階においては、自然の中での集団宿泊的活動を重点的に推進することが望まれる。

留意点

計画の作成に当っては、児童の自主的な活動の場を十分に考慮し、児童の意見をできるだけ取り入れた活動ができるようにする。

あらかじめ、実地調査を行い、現地の状況や安全の確認、所要時間などを把握するとともに、それらに基づいて指導と準備をする。

実施に当っては、地域社会の社会教育施設等を積極的に活用するなど工夫し、十分に自然や文化などに触れられるよう配慮する。

学級活動などにおいて、事前に、目的、日程、活動内容などについて指導を十分に行い、児童の参加意欲を高めるとともに、保護者にも必要事項について知らせておく。必要に応じて、事前に参加する児童の健康診断や健康相談を行い、個々の児童の健康状態を把握しておく。

宿泊を伴う行事を実施する場合は、通常の学校生活で行うことのできる教育活動はできるけ除き、その環境でしか実施できない教育活動を豊富に取り入れるよう工夫する。

また、集団宿泊活動については、望ましい人間関係を築く態度の形成などの教育的な意義が一層深まるとともに、高い教育効果が期待されることなどから、学校の実態や児童の発達の段階を考慮しつつ、一定期間にわたって行うことが望まれる。その際、児童相互のかかわりを深め、互いのことをより深く理解し、折り合いを付けるなどして人間関係などの諸問題を解決しながら、協調して生活することの大切さが実感できるようにする。

長期にわたって宿泊を伴う体験的な活動においては、目的地において、教科の内容にかかわる学習や探求的な活動が効果的に展開できると期待される場合、教科等や総合的な学習の時間などの学習活動を含む計画を立てるとともに、宿泊施設を活用した野外活動を盛り込むなどの工夫をする。

事故防止のための万全な配慮をする。特に、安全への配慮から、小学校の段階においては活動する現地において集合や解散することは望ましくないことから十分に考慮すべきである。また、自然災害などの不測の事態に対しても、自校との連絡体制を整えるなど適切な対応ができるようにする。

勤労生産・奉仕的行事

ねらいと内容

勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行うこと。

学校内外の生活の中で、勤労生産やボランティア精神を養う体験的な活動を経験することによって、勤労の価値や必要性を体得できるようにするとともに、自らを豊かにし、進んで他に奉仕しようとする。

飼育栽培活動・校内美化運動・地域社会の清掃活動、公共施設等の清掃活動、福祉施設との交流活動などが考えられる。

留意点

学校や地域社会に奉仕し、公共のために役立つことや働くことの意義を理解するなど、あらかじめ、児童が十分にその行事の教育的意義を理解し、進んで活動できるように指導する。

飼育や栽培の活動で収穫したものの扱いについては、生産の喜びを味わえるような指導を配慮する。

勤労体験や学校外におけるボランティア活動などの実施に当っては、児童の発達の段階を考慮して計画し、実施することが望まれる。その際、児童の安全に対する配慮を十分に行うようにする。

一般的に行われている大掃除は、健康安全・体育的行事として取り上げられる場合もあるが、特に勤労面を重視して行う場合は、勤労生産・奉仕的行事として取り上げることも可能である。

「勤労生産・奉仕的行事」については、総合的な学習の時間で、ボランティア活動や栽培活動を行うことによって代替することが考えられる。その際、「勤労生産・奉仕的行事」が「勤労の尊さ」と「生産の喜び」の両方を体得する活動であることから、例えば、総合的な学習の時間における学習活動により生産の喜びを体得できない場合には、学校行事において「生産の喜び」を体得する活動を別に行う必要がある。

学校行事の指導計画

特別活動の全体計画や各活動・学校行事の年間指導計画の作成に当たっては、学校の創意工夫を生かすとともに、学級や学校の実態や児童の発達の段階などを考慮し、児童による自主性、実践的な活動が助長されるようにすること。また、各教科，道徳，外国語活動及び総合的な学習の時間などの指導との関連を図るとともに、家庭や地域の人々との連携，社会教育施設等の活用などを工夫すること。

その他の留意事項

ア 全教師がかかわって年間を見通した適切な年間指導計画を作成し、全教師の協力的な指導体制を確立して、組織的に指導に当たる必要がある。

イ 年間指導計画には次のような内容を示すことが考えられる。

- ・各行事ごとのねらい
- ・五つの種類ごとの各行事を実施する時期と内容及び授業時数
- ・各教科との関連
- ・評価の観点 など

ウ 年間指導計画は、児童の実態や学校の事情などの諸条件が変化するにつれて、絶えず修正され、現実の事態に即応するように見直し、改められなくてはならないものである。特に学校行事の年間指導計画は、それぞれの行事が教育的価値を十分に発揮し、教育効果を高めることができるように、弾力性、融通性に富むものであることが望ましい。

エ 学校行事の授業時数等の取扱いについては、学習指導要領第1章総則第3の2に次のように示している。

特別活動の授業のうち、児童会活動、クラブ活動及び学校行事については、それらの内容に応じ、年間，学期ごと，月ごとなどに適切な授業時数を充てるものとする。

各学校や地域社会の実態に即して重点化され、行事間の関連や精選された適切な年間指導計画を作成して実施することが望ましい。

学校行事に充て得る年間の授業時数にも限りがあることから、教育課程全体を見通して、適切な時数の配当計画を立てることが重要である。

学校教育法施行規則第61条第1項ただし書きによって、休業日である国民の祝日，日曜日及び土曜日などにも授業を行うことができるようになっており、必要に応じて日曜日などに学校行事を実施することも可能である。

学校行事の内容の取り扱い

学校行事については、学校や地域及び児童の実態に応じて、各種類ごとに、行事及びその内容を重点化するとともに、行事間の関連や統合を図るなど精選して実施すること。また、実施に当っては、異年齢集団による交流、幼児、高齢者、障害のある人々などとのふれあい、自然体験や社会体験などの体験活動を充実するとともに、体験活動を通して気づいたことなどを振り返り、まとめたり、発表しあったりするなどの活動を充実するよう工夫すること。

その他の留意事項

小学校6年間や各学年の1年間を見通した計画を立てることとし、特定の時期に集中することがないように配慮する。また、児童の負担が過重にならないように、児童の発達の段階や行事の内容などについては十分に考慮する。

学校行事は、平素の学習活動の成果を総合的に発展させる実践の場であるので、計画の作成や実施に当っては、それらとの関連を十分に考慮する必要がある。ややもすると、ねらいが不明確になりやすいので、個々の行事のねらいを明確に設定して実施することが必要である。

全校又は学年という大きな集団が一つのまとまりとして組織的に行動するところに教育的価値があり、その計画や指導に当っては、体育科における集団行動の指導との関連を十分に図る必要がある。

いずれの種類の記事においても、児童の健康と安全を図ることについて十分配慮し、事故防止のために万全の計画を立て、不測の事態に対しても適切に対応し必要な処置がとれるようにする。

幼児、高齢者、障害のある人々などとのふれあう行事を行う場合は、地域の関連施設を活用したり、地域の関係諸団体との連携を図ったりして効果的に体験できるようにする。なお、その場合には、十分に事前の打ち合わせを行い、教育的な効果が上がるように配慮する。

学校行事の評価の観点や方法などについて、計画の段階から見通しを立てておき、行事を効果的に実施するとともに、行事の改善につながるようにする。

行事起案シート

～特色のある楽しい学校行事づくりのために～

文書管理規程等が各地教委単位で制定され、学校にも起案決裁の流れが定着してきました。しかし、学校の教育活動の中で大きな位置をしめる「学校行事」についてはどうでしょうか。児童生徒の活動内容について担当者だけしか知らなかったり、学校の意志としての「決裁」がないまま活動が行われることはないでしょうか。これでは安全管理に問題があったり計画に無理があっても是正されず、責任の所在もあいまいになってきます。また「去年はどうだったか？」と記録ではなく、記憶による行事計画の立案がなされ、むだな時間を浪費することはないでしょうか。評価・反省を活かした次年度の行事計画の立案がなされているでしょうか。学校経営に参画する事務職員として、校内のシステムづくりに携わり、この「行事起案シート」を各校で提案してみてもどうでしょう。

活用の目的

- 1 行事に起案・決裁の流れをつくる
- 2 評価・反省を活かした学校行事の実施

活用の流れ

シート	誰が	何をどうする
1～12	担当者（起案者）	行事起案シート作成 *必要により合議 *別紙の実施要項を添付する
	↓	
	企画委員会	内容の確認
	↓	
	(担当者（起案者）)	(変更があれば手直し)
	↓	
教 頭	審査	
↓		
校 長	職員会提案するまでに学校長決裁	
↓		
担当者（起案者）	職員会提案 *シート原本は 行事（簿冊）に綴じる	
↓		
該当学年	行事の実施	
13	担当者（起案者）	職員会等での評価・反省・申し送り事項をシートに記載する
	↓	
校長等	評価・反省・申し送り事項の確認	
	企画委員会 担当者（起案者）	評価をもとに来年度の行事立案 企画等で話し合い、時期・方法など決めておく (来年度のシートを作成をしておくとい)

		決裁		年	月	日	文書管理 担当者
校長	教頭		教務	合議	起案者		
						/	

行事起案シート

〇〇小・中学校

1. 行事名	
2. 目的	
3. 期日（雨天時）	
4. 場所	
5. 該当学年	
6. 実施計画	
7. 授業配時数	
8. 予算	
9. 渉外関係	
10. 安全管理	
11. 留意事項	
12. その他	

13 評価（反省） 次年度への申し送り	
------------------------	--

確認 印	校長	教頭		担当者

決裁 年 月 日						文書管理
校長	教頭		教務	合議	起案者	担当者
					/	

行事起案シート

〇〇小学校

1. 行事名	遠足
2. 目的	6年生との最後の遠足を思い出に残るように楽しく過ごす。
3. 期日(雨天時)	3月10日 (予備日 12日)
4. 場所	あけぼの公園(愛南町)
5. 該当学年	全学年
6. 実施計画	(別紙) *準備物(担当者・保管場所等) 5年生・児童会 *日程
7. 授業配時数	学校行事(④遠足・集団宿泊的行事)6時間
8. 予算	(公費) (PTA) バス代補助 児童・教員1人あたり600円集金した残りを補助 約8万円
9. 渉外関係	あけぼの公園事務所へ遠足予定の電話連絡と研修室をかりるための手続き バス借り上げ
10. 安全管理	あけぼの公園一帯は施設管理者が常時管理清掃を行っているため下見はおこなっていない。悪天候になった場合は公園内施設を借りて(有料のためPTAで対応)食事をするよう手配
11. 留意事項	就学援助費(校外活動費請求) 給食・スクールバスの変更 給食を予備日も止める。
12. その他	

13 評価(反省) 次年度への申し送り	
------------------------	--

確認印	校長	教頭		担当者

校長		教頭		文書管理 担当者	
年		月		日	
教務		合議		起案者	
				/	

行事起案シート

〇〇小学校

1. 行事名	3校連合宿泊研修
2. 目的	・親元を離れ、いろいろな体験活動を楽しむ ・集団生活を通して、3校の交流を図り来年度の修学旅行につなげる
3. 期日（雨天時）	6月23日10:30～6月24日14:10（雨天決行）
4. 場所	幡多青少年の家
5. 該当学年	5学年
6. 実施計画	（別紙） *準備物（担当者・保管場所等） *日程
7. 授業配時数	学校行事（④遠足・集団宿泊的行事）9時間
8. 予算	（公費） 無し （PTA）半額補助（但し児童のみ・雑費は全額個人負担）
9. 渉外関係	幡多青少年の家利用申し込み（担当校） 保護者宛計画書 スクールバスの手配（担当校）
10. 安全管理	保護者の参加同意書・緊急連絡先の確認・救急用品の用意
11. 留意事項	給食用ミルクの取り消し 校外学習活動計画 昼食のお茶不要（校内での昼食用）
12. その他	
13 評価（反省） 次年度への申し送り	・食後の食器、飯ごうの後かたづけに時間がかかり、入浴の時間が遅くなったが後は予定とおり行うことができた。 ・来年度の予約も当日おこなっている。 ・バスの予約は来年4月早々におこなうこと。 ・次年度の計画は△△小学校がおこなう。

行事実施後に記入

確認 印	校長	教頭		担当者
	印	印		印

		決裁		年	月	日	文書管理 担当者
校長	教頭		教務	合議	起案者		

行事起案シート

〇〇小学校

1. 行事名	運動会
2. 目的	・運動会を通じて集団の決まりを守り、集団を高める。 ・運動会を通じて児童の自主性を養い、1つの目標に向かって活動することの重要性を知らせる。
3. 期日（雨天時）	9月27日（日）（雨天順延）
4. 場所	〇〇小学校 グランド
5. 該当学年	全学年
6. 実施計画	（別紙1） *準備物（担当者・保管場所等） *日程
7. 授業配時数	（別紙2）練習計画表
8. 予算	（公費）各種目準備品 （PTA）参加賞；ノート1冊 高齢者種目；宝釣り景品 幼児；みかん拾い
9. 渉外関係	（案内状・来賓者挨拶等）（別紙3） *送付者名簿 *慰労会
10. 安全管理	※マストのぼり ※騎馬戦
11. 留意事項	週休日等の振替簿（代休の指定簿） 繰替授業申請書 給食・スクールバスの変更
12. その他	駐車場 前庭・グラウンド南側 場所取り 当日朝6時

13 評価（反省） 次年度への申し送り	
------------------------	--

確認 印	校長	教頭		担当者

決裁						文書管理 担当者
校長	教頭		教務	合議	起案者	
					/	

行事起案シート

〇〇小学校

1. 行事名	校内マラソン大会
2. 目的	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の持久走の成果を試す。 ・校外で走ることにより、マラソンの爽快感を味わう。 ・苦しさ負けず、自分の限界に挑戦しようとする態度を養う。
3. 期日（雨天時）	平成21年12月13日（日） 9：30～11：20 *雨天の場合 12月15日（火）
4. 場所	〇〇地区（別紙地図）
5. 該当学年	全学年
6. 実施計画	（別紙） *準備物（担当者・保管場所等） *日程
7. 授業配時数	学校行事（③健康安全・体育的行事） 2時間
8. 予算	（公費） なし （PTA） 参加賞（チョコボール）
9. 渉外関係	*道路使用許可申請書・道路使用許可の手数料免除申立書に 実施計画書・地図を添付し、中村警察署に提出 *保護者に案内文書を配布
10. 安全管理	事前調査表（練習開始前）・同意書（当日）
11. 留意事項	週休日等の振替簿 繰替授業申請書
12. その他	駐車場（〇〇中学校）

13 評価（反省） 次年度への申し送り	
------------------------	--

確認 印	校長	教頭		担当者

校長		教頭		教務		合議		起案者		文書管理 担当者

行事起案シート

〇〇小学校

1. 行事名	避難訓練（地震・火災）
2. 目的	学級担任の指示にしたがい、地震に伴う火災発生時の安全な避難方法をわからせ、訓練することにより万一の場合に備える。
3. 期日（雨天時）	平成21年5月14日（木）14:00～14:45 雨天の場合は延期
4. 場所	〇〇小学校
5. 該当学年	全学年児童（508名）、全教職員（31名）
6. 実施計画	（別紙） *準備物（担当者・保管場所等） *日程
7. 授業配時数	学校行事（③健康安全・体育的行事）2時間
8. 予算	（公費） なし （PTA） なし
9. 渉外関係	*消防訓練通知・依頼書作成 実施計画を添付し、四万十消防署へ提出（2週間前までに）
10. 安全管理	
11. 留意事項	〇〇小学校防災計画参照
12. その他	
13 評価（反省） 次年度への申し送り	*事前指導ができていたので、混乱することなくスムーズに避難することができた。 *上靴のまま外に出るので、上靴を家庭に持って帰って洗えるよう来年度は週末に行う。

行事实施
後に記入

確認 印	校長	教頭		担当者
	印	印		印